

埼玉県福祉部高齢者福祉課 主催

# 令和8年度 生産性向上伴走支援事業 事業説明

～生産性向上推進体制加算（Ⅰ）の取得を目指して～

2026年6月

株式会社NTTデータ経営研究所  
ライフ・バリュー・クリエイションユニット 介護・福祉・インプリメンテーショングループ

# 本動画でお伝えすること

## 1. 本事業の全体像について

- 事業目的、伴走支援プログラム、全体スケジュール

## 2. 生産性向上推進体制について

- 加算の要件、加算（I）取得の3つのハードル

## 3. 本事業のポイントについて

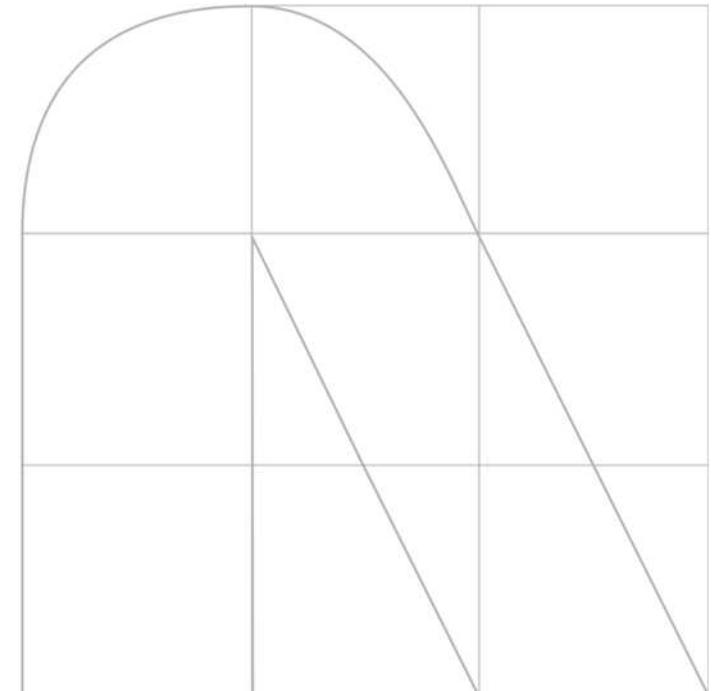
- 加算（I）取得の3つのハードルへの対応

## 4. 本事業への応募について

- 対象となるサービス種別、応募の手順、応募書類の提出先

# 1

## 本事業の全体像について



## 1. 本事業の全体像について 事業の目的

### 事業の目的

1

県内10事業所に対し、アドバイザーによる伴走支援を実施し、「生産性向上推進体制加算（I）」の取得を目指します。

2

県内10事業所の取組結果をまとめ、県内事業所へ周知し、取組の普及を図ります。

支援

10事業所を支援

4回の研修+5回の個別訪問による  
伴走支援の実施

取得

加算（I）を取得

機器導入とデータ測定、役割分担等  
により加算の要件を満たす

周知

取組結果の周知

10事業所の取組結果を周知し、取組の  
普及を図る。

## 1. 本事業の全体像について

# 生産性向上ガイドライン 改善活動の6つのステップ

- 生産性向上ガイドラインの改善活動の6つのステップに則り、アドバイザーによる研修と個別訪問を組み合わせた「伴走支援プログラム」を実施します。

### 改善活動の6つのステップ



出典：厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上（業務改善）に資するガイドライン」

## 1. 本事業の全体像について 伴走支援プログラム

- 伴走支援プログラムでは、アドバイザーによる**全4回の研修**と**全5回程度の個別訪問**を実施します。
- 加算（I）の取得のために必要な取組（委員会の開催、役割分担の明確化、データの測定等）を支援します。

### 研修の日程及び内容

	開催日程	会場	主な内容
第1回	令和8年7月2日(木) 13:00～16:00	彩の国すこやかプラザ	現状分析 <span>ステップ1</span> <span>ステップ2</span>
第2回	令和8年8月7日(金) 13:00～16:00	彩の国すこやかプラザ	導入計画書の策定 <span>ステップ3</span>
第3回	令和8年12月中旬	彩の国すこやかプラザ	中間振り返り <span>ステップ4</span> <span>ステップ5</span>
第4回	令和9年3月上旬	彩の国すこやかプラザ	成果報告会 <span>ステップ6</span>

※現時点での予定。

### 個別訪問の日程及び内容

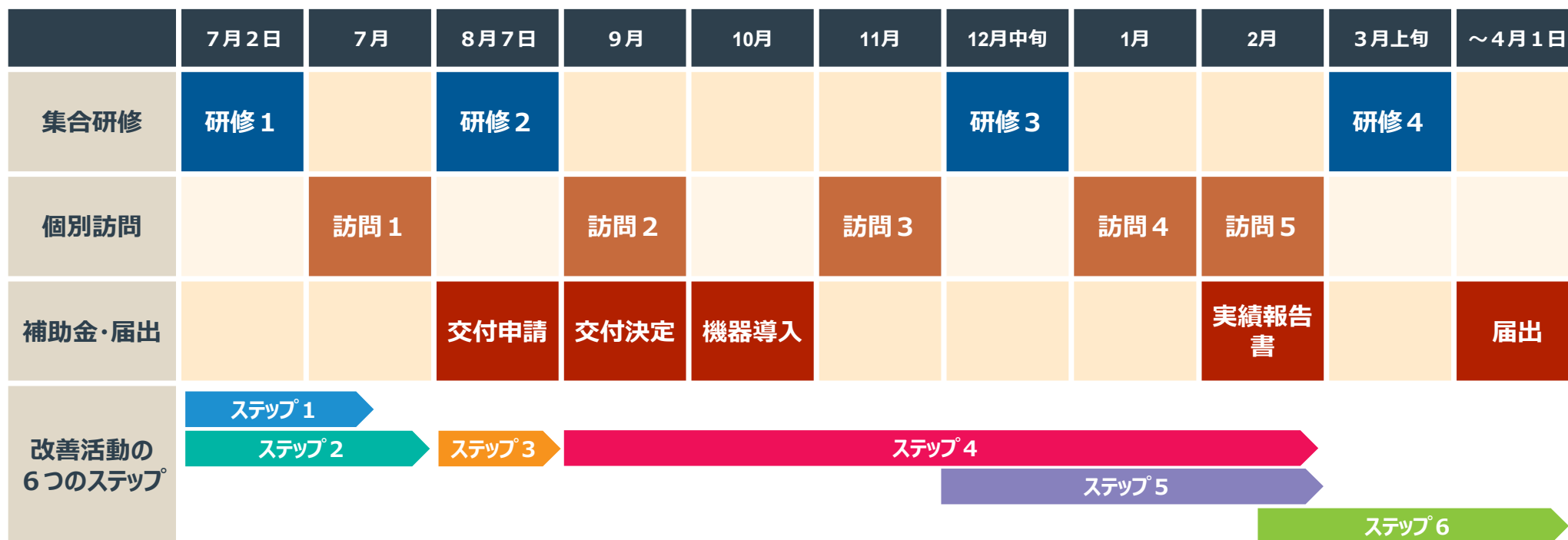
	実施月	主な内容
第1回	令和8年7月	現状把握・機器選定、委員会の年間計画の策定 <span>ステップ1</span> <span>ステップ2</span>
第2回	令和8年9月	機器導入前データの測定支援、業務分担の見直し支援 <span>ステップ4</span>
第3回	令和8年11月	機器の定着支援、導入計画書の見直し <span>ステップ4</span> <span>ステップ5</span>
第4回	令和9年1月	導入後データの測定支援、業務分担の状況確認 <span>ステップ4</span> <span>ステップ5</span>
第5回	令和9年2月	効果検証、届出書類作成支援、実績報告策定支援 <span>ステップ6</span>

※実施日や内容は個別に調整する。また、実施回数も状況に応じて調整する。 ※希望に応じてWebでの実施も可とする。

## 1. 本事業の全体像について 全体スケジュール

- 7月から3月までの約9か月間、アドバイザーが皆様の取組を支援します。
- 加算（I）算定に必要な取組を支援し、4月1日の届出（4月算定開始）※を目指します。

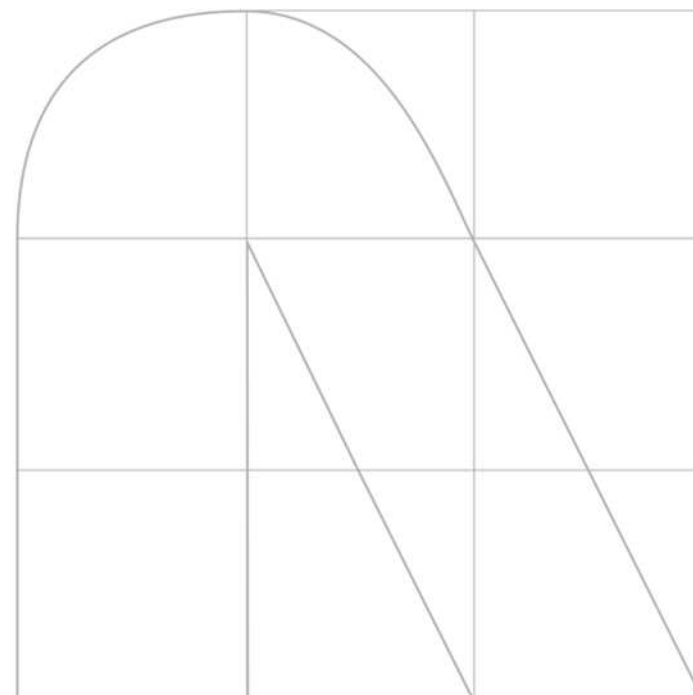
※認知症対応型共同生活介護については、各市町村の届出受付期日までの届出（4月算定開始）



※研修・個別訪問のほか、Web会議やチャットツールでも随時フォローします。

# 2

## 生産性向上推進体制加算について



## 2. 生産性向上推進体制加算について 生産性向上推進体制加算とは

### 創設の経緯と目的

- 令和6年度の介護報酬改定で創設
- 介護人材不足を背景に、介護テクノロジーの活用で職員の負担軽減とケアの質の向上を両立させることが狙い
- 「生産性向上ガイドライン」に沿った委員会運営とデータに基づく効果確認を評価する仕組み
- 対象: 介護老人福祉施設・介護老人保健施設 等

### 報酬の単位

「加算（Ⅱ）」と「加算（Ⅰ）」の2段階

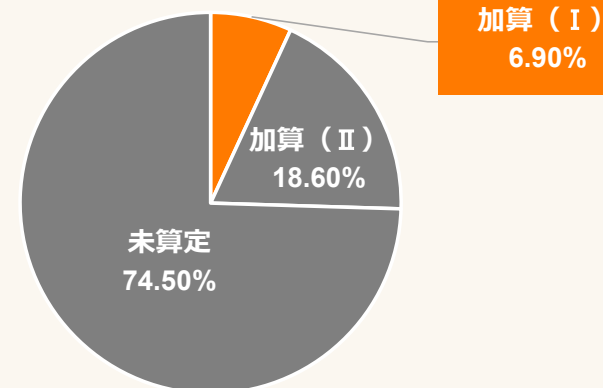
加算Ⅱ 月10単位

加算Ⅰ 月100単位

加算Ⅰは1人・1月あたり100単位。加算Ⅱ（10単位）の10倍の評価が得られます。

### 全国の取得状況

介護老人福祉施設での算定状況（n=769）



出典：福祉医療機構(WAM)「2024年度介護報酬改定の影響に関するアンケート調査」

## 2. 生産性向上推進体制加算について 加算取得の要件

- 加算（Ⅰ）の取得にあたっては、加算（Ⅱ）の取組に加え、「成果をデータで示すこと」等、更なる取組が求められます。

算定要件	加算（Ⅱ）	加算（Ⅰ）（本事業のゴール）
生産性向上ガイドラインに基づいた業務改善の実施	必須	必須
委員会の設置・運営	必須	必須
介護テクノロジーの導入	見守り機器・インカム等・記録ソフトのうち1つ以上	<b>3つすべての機器の導入 （見守り機器は全居室、インカム等は全介護職員）</b>
適切な役割分担	—	<b>必須 （介護助手の活用等）</b>
データの提出	3項目	<b>5項目（タイムスタディ等を追加）</b>
データに基づく取組成果の確認	—	<b>必須（導入前後の比較で確認）</b>

## 2. 生産性向上推進体制加算について

### 加算（I）取得にあたっての3つのハードル

- 加算（I）の取得・継続的な算定にあたり、とくに施設が乗り越えなければいけないハードルは次の3つがあります。
- 本事業により、これらのハードルを一緒に解決していきます。

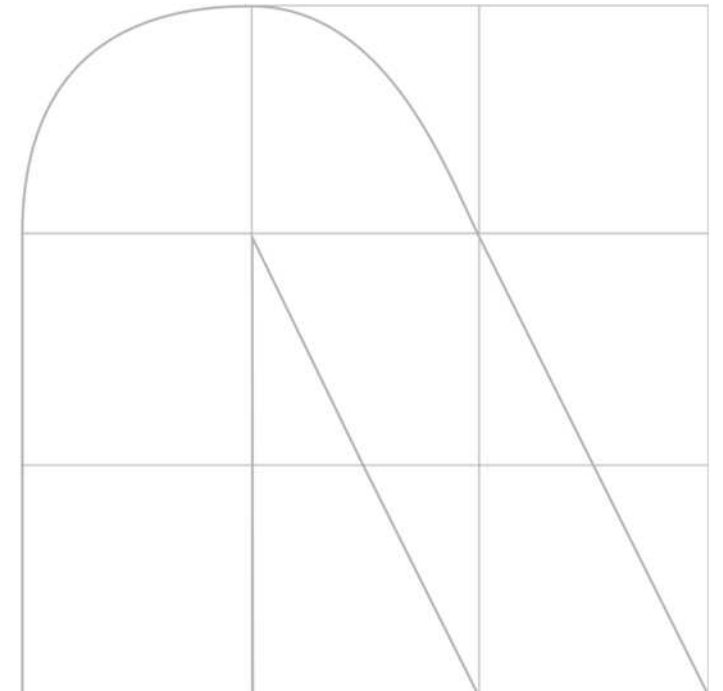
#### 加算（I）取得のハードル



アドバイザーと一緒にこれらのハードルを解決していきます。

# 3

## 本事業のポイントについて



### 3. 本事業のポイントについて

## 機器導入のハードルへの対応

- 加算（I）では機器導入にあたり、選定の負担や多額の初期費用が発生。
- 本事業では、個別訪問や補助金により、この負担を軽減します。

#### 1 機器導入のハードル



##### 3種の機器が必要

見守り・インカム等・記録ソフトをすべて導入



##### 全居室・全職員へ

見守り機器は全居室、インカム等は全介護職員が使用



##### 多額の初期費用

多額の初期費用が発生



#### ✓ 対応策 機器導入の支援と補助金の活用

##### 個別訪問で機器の導入を支援



専門家が個別訪問により、機器の導入・選定をサポート

##### 補助金の優先採択



複数機器導入を前提とした補助金を用意  
本事業参加事業所をもれなく採択

##### 補助金関係書類の作成支援



補助金の申請書や実績報告の作成をサポート

### 3. 本事業のポイントについて

## 【参考】令和8年度生産性向上伴走支援事業補助金について

- 令和8年度生産性向上伴走支援事業補助金により、本事業参加事業所の取組を支援します。
- 本補助金の詳細は別途県から通知します。

#### 補助対象

##### 【補助対象サービス】

・介護老人福祉施設 ・介護老人保健施設 ・介護医療院 ・認知症対応型共同生活介護

##### 【補助対象経費】

・生産性向上推進体制加算（I）取得に係る費用

（例）介護テクノロジー導入費、Wi-Fi工事費、端末購入費、介護助手の募集経費 等

#### 補助率

**4 / 5**  
**（事業所負担 1 / 5）**

#### 補助単価

**定員1名当たり304千円**

（例）定員70名の施設の場合  
304千円×70名 = 21,280千円（補助上限額）

**補助金の優先採択により、取組を支援します。**

### 3. 本事業のポイントについて

## データ収集のハードルへの対応

- 提出データが3項目から5項目へ。とくに5日間、10分単位のタイムスタディは最大の難関となります。
- 本事業では、ツールの使い方の研修の実施や個別訪問によりデータの収集を支援します。

### 2 データ収集のハードル



#### 3項目→5項目

心理的負担(SRS-18)とタイムスタディが追加



#### タイムスタディ

5日間・10分単位で記録する最大の難関



#### 導入前後で測定

成果確認のため導入前と導入後の両方が必要

### ✓ 対応策 タイムスタディツールの活用と個別訪問による測定支援

#### ツールの活用を支援



タイムスタディツールの使い方の習得やWebアンケート作成を支援

#### 個別訪問で測定を支援



導入前・導入後で専門家が訪問し、測定を手厚くサポート

### 3. 本事業のポイントについて

## 適切な役割分担の実践への対応

- 業務を見直し、職員間の役割分担の実践が必要となります。
- 本事業では、委員会の運営支援を軸に、業務の切り出しから介護助手・外注の導入まで支援します。

### 3 適切な役割分担の実践のハードル



#### 業務の平準化

負荷の集中する業務を細分化し平準化



#### 介助に集中できる時間帯の設定

介助に集中する時間帯を設け業務を整理



#### 介護助手・外注の活用

介助を伴わない業務を介護助手や外注へ



### ✓ 対応策 委員会運営を軸とした役割分担の実践支援



#### 委員会運営を支援

個別訪問を通じて生産性向上委員会の運営を支援



#### 介護助手・外注の活用等の支援

業務切り分け・研修・マニュアル・募集準備まで一貫して支援



#### 段階に応じた伴走

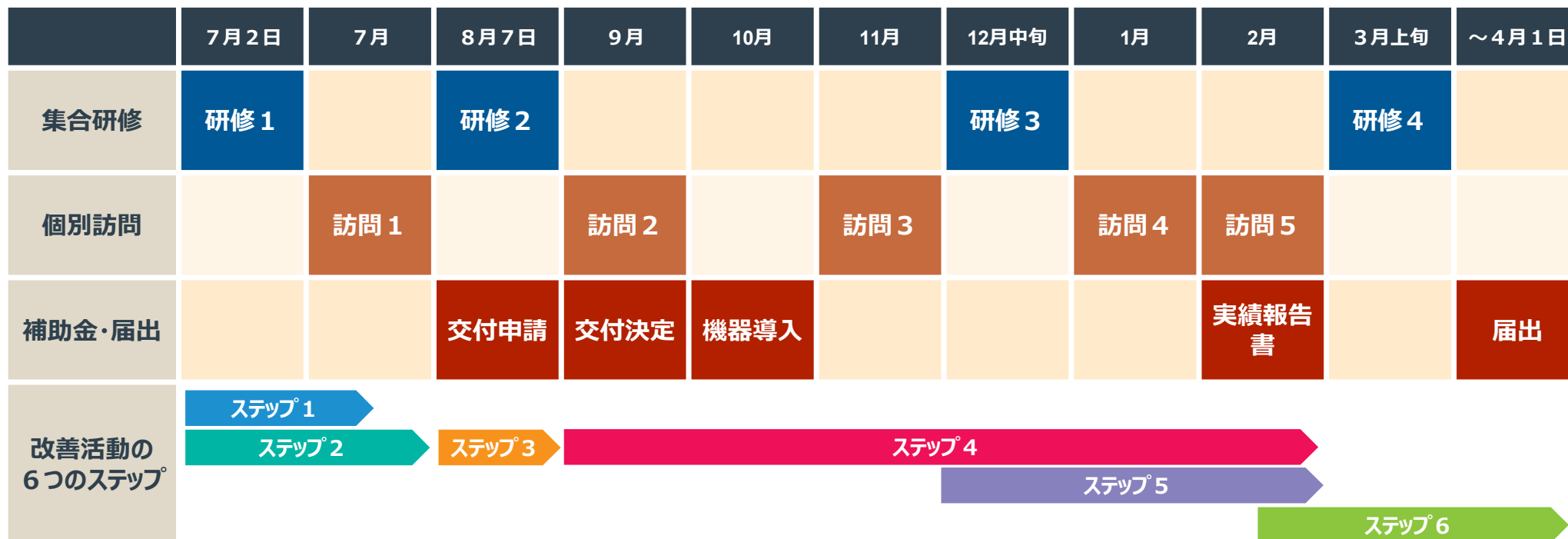
既に介護助手等を導入済みの施設はさらなる改善・効率化を支援

### 3. 本事業のポイントについて

## 全体スケジュール（再掲）

- 7月から3月までの約9か月間、アドバイザーが皆様の取組を支援します。
- 加算（I）算定に必要な取組を支援し、4月1日の届出（4月算定開始）※を目指します。

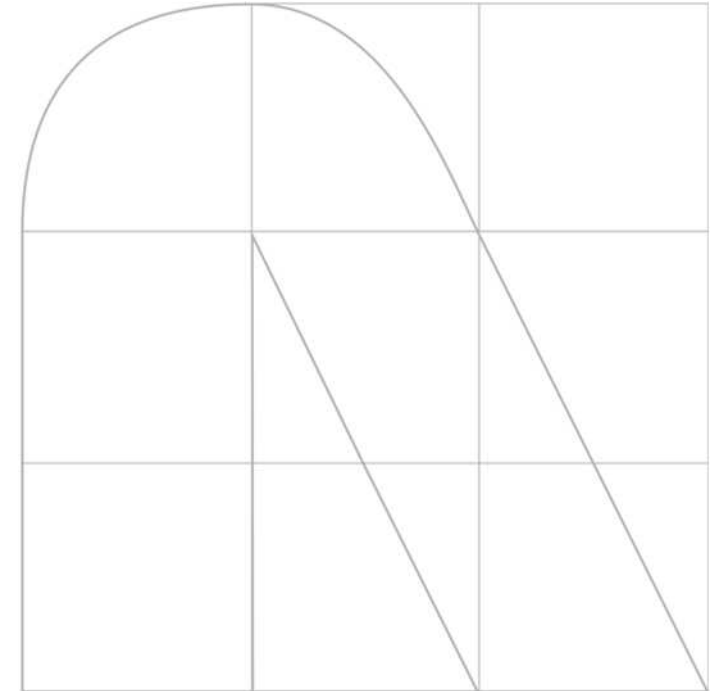
※認知症対応型共同生活介護については、各市町村の届出受付期日までの届出（4月算定開始）



※研修・個別訪問のほか、Web会議やチャットツールでも随時フォローします。

# 4

## 本事業への応募について



#### 4. 本事業への応募について

### 対象となるサービス種別及び募集数

- 埼玉県内に所在する（政令・中核市所在の施設を除く）介護老人福祉施設等が対象。
- 10施設程度を募集します。

対象となるサービス種別	募集数
<p data-bbox="129 758 1314 799"><b>埼玉県内に所在する（政令・中核市所在の施設を除く）以下のサービス種別</b></p> <ul data-bbox="136 850 949 935" style="list-style-type: none"><li>•介護老人福祉施設</li><li>•介護老人保健施設</li><li>•介護医療院</li><li>•認知症対応型共同生活介護</li></ul>	<p data-bbox="1534 828 1765 869"><b>10施設程度</b></p>

※詳細は募集要項を御確認ください。

## 4. 本事業への応募について 応募の手順

- 募集要項を確認の上、申請書、事業計画書を作成し、高齢者福祉課へ提出。
- 応募のあった事業所から支援対象施設の選定を行います。

### STEP 1

#### 応募書類の準備

申請書・事業計画書をご準備ください。様式は県HPからダウンロードできます。

### STEP 2

#### 応募書類の提出

応募書類を高齢者福祉課あてに、メールにてご提出ください。

### STEP 3

#### 結果の通知

県と運営事業者の協議により対象施設を決定し、結果をご連絡します。



提出期限: 6月12日(金)

結果通知: 6月下旬

※詳細は募集要項を御確認ください。

## 4. 本事業への応募について 応募書類の提出先

- 応募書類は6月12日(金)までに高齢者福祉課までメールにて御提出ください。
- 本事業への質問は質問フォームで受け付けております。(6月11日(木)まで)

### 応募書類の提出先

埼玉県 福祉部 高齢者福祉課 施設・事業者指導担当  
Mail:a3240-21@pref.saitama.lg.jp

メールにて御提出ください。  
提出にあたっては、必ず募集要項を御確認ください。

**提出期限: 6月12日(金)**

**結果通知: 6月下旬**

※詳細は募集要項を御確認ください。

### 御質問の受付

株式会社NTTデータ経営研究所 (運営事業者)  
質問フォームにて受付

※回答は県HPに掲載します。

**URL :**

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf\\_DEdWqeAEDz1f\\_CsfQbNRYBPvKaZ800ZGI05i32JIm67IMw/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf_DEdWqeAEDz1f_CsfQbNRYBPvKaZ800ZGI05i32JIm67IMw/viewform)



質問フォーム  
QRコード

**受付期限: 6月11日(木)**

#### 4. 本事業への応募について アドバイザーの紹介

- 5名のアドバイザーが研修や個別訪問を通じ、皆さまの取組を支援します。



片岡 眞一郎



平良 未来



柳沼 亮一



日原 一成



篠原 啓佑

**加算（I）の取得を一緒にめざしましょう。皆様のご応募お待ちしております。**



Lighting the way  
to a brighter society